



いわした たつ や
岩下 竜也 議員
IWASHITA Tatsuya

Q. 押印など制度の見直しを

A. 効率化・デジタル化を推進

町長の施政方針の中にも話があったように社会課題や町民ニーズの急速な変化に対応するためには、デジタル技術を活用した行政サービスを推進する事がやはり必要になってくると感じる。更なる行政サービス向上、また無駄のない業務による生産性アップのためには、書面提出や押印などの制度・慣行の見直しも同時に必要だと思う。

Q 現在、豊山町役場1階にある、電子モニター（デジタルサイネージ）の、現在の活用状況を問う。

A 総務部長
デジタルサイネージは、緊急情報のほか、庁舎案内を掲載している。来庁者が画面に触れて操作することで、役場内の行きたい場所までわかりやすく案内している。

Q 新たなシステムを導入する事も大事だが、既存の物を有効活用していく事も、しっかり考えていかなければ

ならない。町としての考えは。
A 総務部長
今後は、デジタルサイネージをより利用していただくための周知方法や配置場所を見直すなど、すべての来庁者にとって分かりやすい窓口の案内方法などについて検討していく。

Q 町民の皆さま、事業者の方から、いまだに窓口対応、紙ベース・押印が多いと聞いているが、見直しなど、今後の考えは。

A 企画調整部長
「書かない窓口」を現在、検討している。デジタル化、DXの取り組みを積極的に推進し、町民の皆さまの利便性の向上や業務の効率化をさらに推進していく。



デジタルサイネージ

Q. 人材確保に関する支援を
A. 周辺自治体の施策を調査
全国的に年々深刻化している人手不足問題。近隣市町では就職支援サイト掲載助成事業補助金、新規雇用関連補助金など人材確保に取り組んでいる。

Q 町として何か具体的な取り組みを行っているのか改めて聞く。

A 総務部長
時差勤務制度を導入し、職員のライフスタイルに合った働き方を可能にしたほか、職場における職員の孤立や精神的不安の解消を目指したメンター制度を導入し、複雑化する職員のストレス軽減に努めるなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。
また、職員の意欲と能力を最大限に引き出すための取り組みとして、同じ所属で3年

を経過した職員を対象に、キャリア形成に関する意向調査を実施し、職員自らが働いてみたい職場への異動希望を聞く機会を設けることで、モチベーションの向上に努めている。

Q 中小企業者向け人材確保支援などは現在行っているのか。

A 産業建設部長
現在、町では行っていない。

Q 中小企業者向け人材確保支援などの今後の考えは。

A 産業建設部長
周辺自治体で取り組んでいる人材確保に関する施策については、その実効性を見極めるなど施策について研究していく。